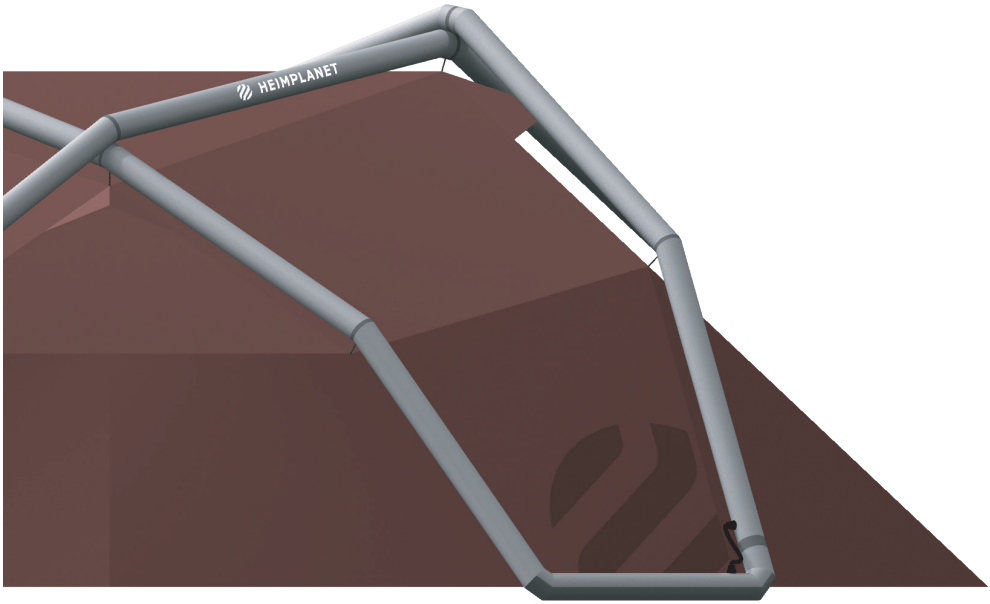
HEIMPLANET

BACKDOOR
取扱説明書

4 PERSON TENT
IGD/ GEODESIC STRUCTURE
MULTI CHAMBER SAFETY
ONE-PUMP SYSTEM
WEIGHT 5. 8 KG

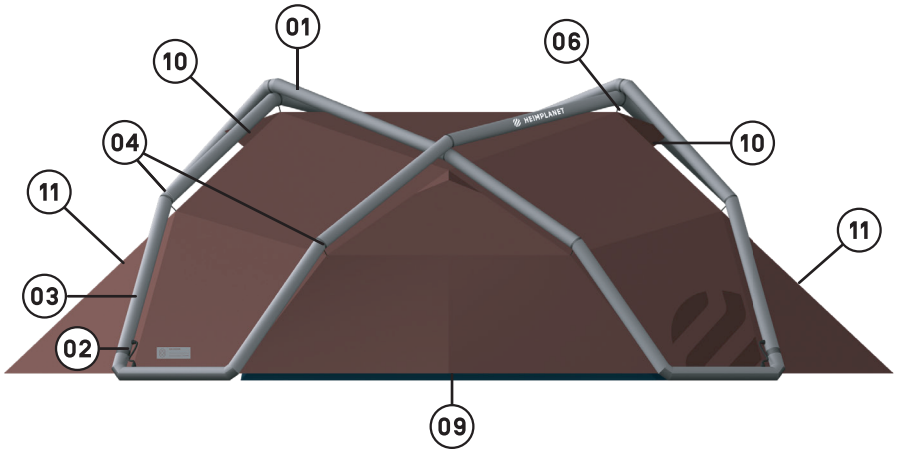
日本語 **01** — 08

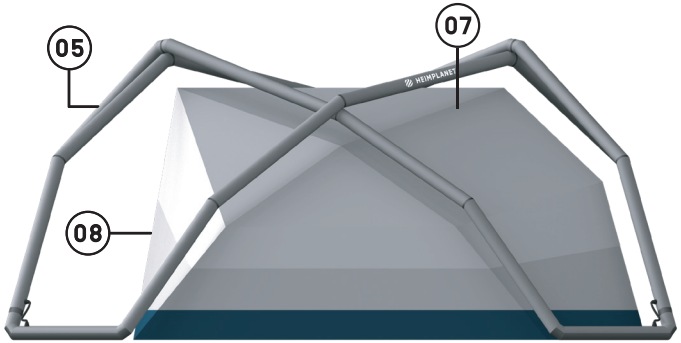


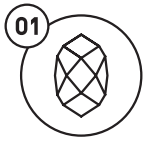
PAT. NR. 10 2010 050 485

HPTBACKDOOR

HEIMPLANET STANDS FOR TRAVELLING, NEW IDEAS AND THE DRIVE TO ACCOMPLISH THINGS IN A CREATIVE WAY.



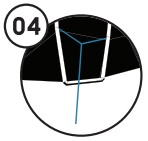




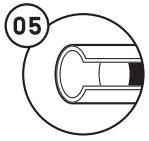
インフレタブル・ダイヤモンド・グリッド(IDG)ダイヤモンドの分子構造からヒントを得た自立式エアフレーム。ジオデシック・ドームの考えに基づきデザインされたIDGは、その高い安定性と優れた表面積対体積比が特徴です。

特許取得済みのマルチチャンバー安全システムにより簡単に膨らませることができます。膨らんだフレームはワンポンプコネクターで４つの別々の気室に分けることができ、一部の部品が破損しても安定性を保つことができます。すべての部品は簡単に修理または交換できます。

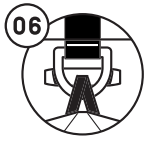
IDGには4つの2つ1組のバルブがあり、それぞれ2箇所で閉じられます。フレームを素早く膨らませるための一方向弁と、萎ませるための開放弁があり、簡単に設営と撤収ができます。



テンション・オプション
インナーテントとアウターテントを確実に分け、四隅すべてをしっかりと固定するための4つのサイドガイラインポイントが付いています。これにより悪天候時もテントを乾いた状態に保てます。

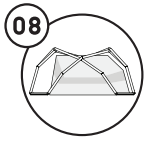


エアビーム機能
丈夫な二層構造のエアビームです。気密TPU(熱可塑性ポリウレタン)空気袋は、長時間にわたり一定の空気圧を保ちます。アウタースリーブは優れた剛性と耐久性を備えた丈夫なポリエステル生地で作られています。



柔軟性
インナーテント、アウターテント、フレームがワンステップで設営できるようにデザインされています。インナーテントとアウターテントは個別に使用することも可能です。

ギアロフトには道具を格納でき、また、ランプを吊り下げることができます。



インナーテントは通気性のあるメッシュ生地でできた３シーズンバージョンと、100％ナイロンで保温性のある4シーズンバージョンの２種類あります。

低部換気
アウターテントは熱損失を最小限に抑え、風や雪が入るのを防ぐ低地フライシートを備えています。アウターテント側面の調整ストラップで換気でき、また、インナーテントの開口部からも簡単に調整できます。

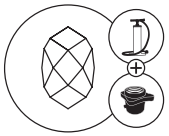
上部換気
4つの密閉式通気口により、悪天候時も空気の循環が保たれます。

テントの外側からもキャビンの内側からもアクセスできるよう、正面と後部の両方に前室があります。正面の前室の方が大きくインナーテントの2つの入口から出入りできますが、後部の入口は1つです。

最初の組立て方

テントを組み立てるときは、まず、インナーテント、アウターテント、フレームを互いに接続します。接続したら、「そのまま」全てをテントバッグに納めます。使用する時はバックを開けてフレームを膨らませるだけです。インナーテントとアウターテントは自然と立ち上がります。

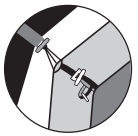
FIRST ASSEMBLY PROCEDURE:



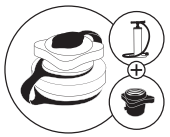
01 IDGを広げる
フレームが捻れていないことを確かめながらIDGを水平に広げます。修理キット袋にポンプアダプターが入っているので、4つのバルブのうちの1つにポンプを接続しフレームを膨らませます。

02 インナーテントとグリッドの接続
インナーテントを広げて入口を作ります。次に、インナーテント底部のトグル（留め具）をフレーム下部のDリングに接続します。押し込んで捻ります。

03 アウターテントの設置
アウターテントを広げてフレームの中から吊り下げます。トグル（留め具）をDリングに固定してください。



04 インナーテントとアウターテントの接続
インナーテントをアウターテントの内側に取り付けます。トグル（留め具）をアウターテント付属のOリングに接続します。また、インナーテントはフレームに直接取り付けることでアウターテントなしでも使用できます。



05 フレームを膨らませる
フレームを膨らませるとテントは自然と立ち上がります。

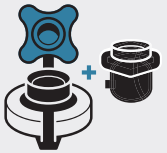
簡単な設置

01 スタート
テントと部品を取り出します

02レイアウト
地面に水平に設置します

03 閉める（x4）
4つのバルブを閉めます

04 開ける（x1）
バルブを1つ開けてポンプアダプタに接続します

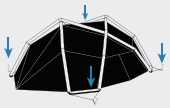


05 IDGを膨らませる
テントは自然と立ち上がります

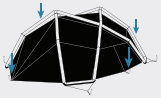
06 閉める（x1）
ポンプを外し、すべてのバルブが閉じているか確認してください

07 安全確保（x6）
パンチクリップでエアビームを切り離します
上部x4／下部x2

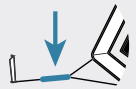
08 ペグ打ち
ガイラインに軽いテンションを加えて押し込みます



09 サイドと前室のペグ打ち
軽く押し込みます

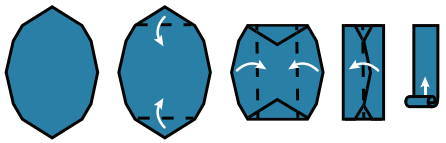


10 固定
ガイラインアジャスターでアンカーポイントの張りを調整する



注意事項	ジッパーの引っ張りを避けるため、 ジッパーを閉めた状態でペグ打ちしてください

畳み方



01 6つのパンチクリップを外します

02 4つのバルブを開きます

03 中央に向かって正面と背面の角を折り込みます

※必ずフレームの余分な空気を抜いてください

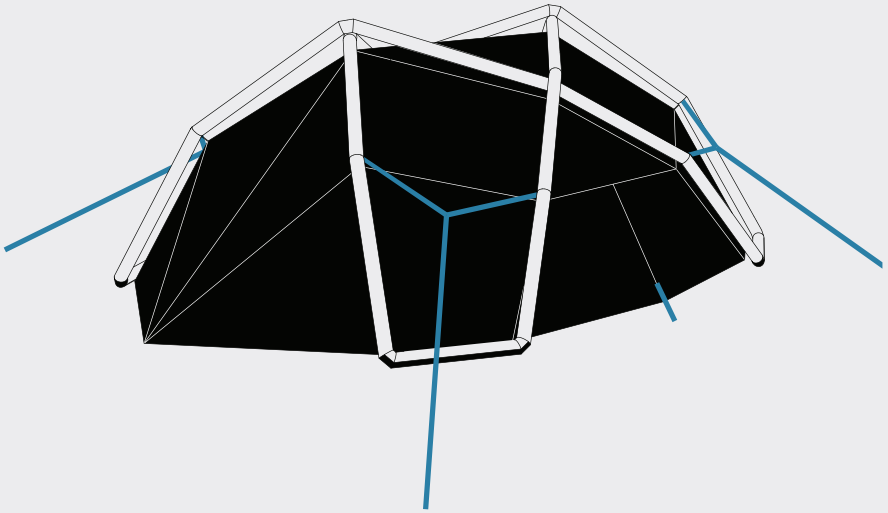
04 中心軸に向かって両側を折り込み、さらにもう半分に折ります

05 空気が抜けたらロールアップ
巻いて開くを数回行うことで完全に空気を抜きます

06 テントバッグに納め圧縮します。

更に進んだ設置方法

バックドアのデザインは柔軟性を備えています。荒天時にはガイラインでテントを補強することができ、前室を備えたインナーテントを使用することでどんな気候にも対応可能です。



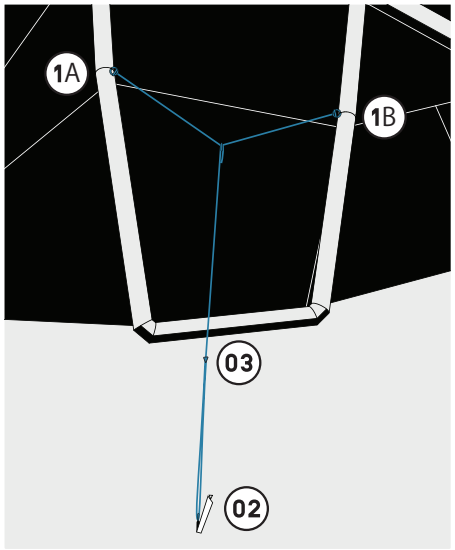
テンション・オプション（荒天時）

インナーテントとアウターテントを確実に分け、四隅すべてをしっかりと固定するための4つのガイラインポイントが付いています。これにより悪天候時もテントを乾いた状態に保てます。

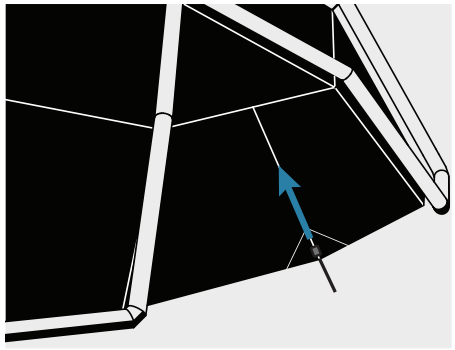
ガイラインを取り付けるには、一方のトグルをエアフレーム（1A）の左側のDリングに、もう一方のトグルをエアフレーム（1B）の右側のDリングに接続します。

次に、ガイラインのアジャスターを地面に固定します（02）。

コードアジャスター（03）を使って、テントの張り具合を簡単に調整できます。

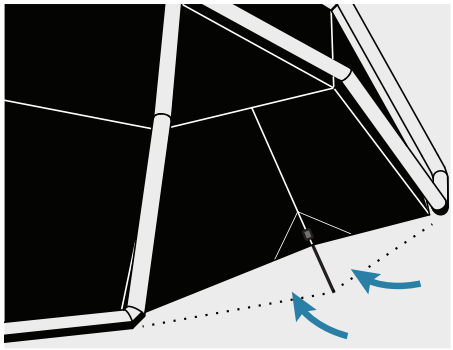


調節可能な低部換気（3シーズンと4シーズンの使用）



インナーテント側面のジッパーを開くとアウターテントにアクセスできます。

調整ストラップを引っ張りテント生地を持ち上げて、換気を最大にします。この作業はテントの外からもできます。
さらに換気が必要な場合は反対側も行います。



これにより底部から上部への空気の循環が可能となり、夏日のテントを涼しく保つことができます。

低部の通気口を閉じるにはフライシートのプルタブを放し、下部を付属のウェビングループで固定します。

修理

IDGは頑丈な素材でできていますが、アウタースリーブまたはインナーブラダーが破損している場合は、パッチでの修理またが交換が可能です。ブラダーに穴が開いている場合は、フレームの端にある修理用開口部からブラダーを簡単に取り外せます。

1. 修理箇所の確認
フレームの端に修理用開口部があります。

2. フレームの端のマジックテープを開くとTPUブラダーがあります。

3.ワンポンプコネクターからゴムチューブとプラスチックリングを取り外し、バルブを緩めて押し出します。

4. 修理用開口部から最も離れた箇所にあるワンポンプコネクターに紐を取り付けます。(または、ガイライン１本を使います。)

5. アウタースリーブからブラダーを慎重に引き抜きます。紐は自動的にアウタースリーブに入ります。修理後ブラダーを再挿入する際、紐を使用してください。

6. ブラダーの修理または交換
修理キットの接着パッチを使って穴を塞ぎます。パッチは破損した部分より約２cm大きめに丸く切り取ります。必要であれば、ブラダーの交換もできます。

7. ブラダーの再挿入
再挿入するときはブラダーを捻らないように十分注意してください。捻ると空気を入れて立ち上がる時に破損する恐れがあります。挿入されたら、ブラダーの端と閉じた部分をフレームの端に折り込みます。

8. マジックテープを留める
マジックテープを開口部の内側にしっかりと固定してください。

9. ブラダーをゆっくり膨らませる
ブラダーの再挿入後、フレームの内側のスペースとの間に隙間がないか確認してください。正しく配置されているか注意しながらゆっくりとブラダーを膨らませます。正しく配置されていない場合(例えば、捻れていたり、隙間がある)は、修正するか、再度取り外して正しく挿入し直してください。

ご注意ください	もしフレームのアウタースリーブが破損していたら インナーブラダーにも破損が及ぶ可能性がありますので直ちに交換してください。低部角のマジックテープを開きフレームを取り出し交換してください。

お手入れ

このテントは腐敗防止素材で作られていますので、少しのお手入れで長く使うことができます。

末永くお使いいただくために

カビを防ぐため、使用後は軽くテントを拭いてください。汚れは柔らかい布とぬるま湯、石鹸水で取り除いてください。洗濯、ドライクリーニングはしないでください。

ジッパーの開閉がしづらい時は少量のワックスで磨いてください。

THANK YOU
FOR YOUR SUPPORT.
WE HOPE YOU ENJOY OUR
PRODUCT AS MUCH AS
WE ENJOYED
ENGINEERING IT.

—

JOIN THE MOMENT AND
MAKE YOURSELF AT HOME
WHEREVER YOU GO.

HEIMPLANET ENTWICKLUNGS GMBH
SHANGHAIALLEE 21
20457 HAMBURG / GERMANY

WWW.HEIMPLANET.COM

WWW.FACEBOOK.COM/HEIMPLANET
WWW.TWITTER.COM/HEIMPLANET
WWW.INSTAGRAM.COM/HEIMPLANET